

研究課題「呼吸器疾患患者由来細胞外小胞の遺伝子変異・発現検査、タンパク発現検査による革新的バイオマーカーの探索研究と肺癌周術期免疫治療への臨床応用」に関する情報公開

1. 研究の対象

2015年1月1日から2030年3月31日の間に呼吸器疾患を罹患された20歳以上の方で、当院呼吸器外科もしくは呼吸器内科に受診された方。名古屋大学医学部附属病院呼吸器外科もしくは愛知県がんセンター呼吸器外科において肺癌に対する術前導入免疫療法、周術期免疫療法、術後免疫療法を受けた方。また下記の研究科課題への参加の同意を頂いた方。また2013年3月から2014年3月の間に日本多施設共同コホート研究(J-MICC Study)の1地区である「伊賀市コホート研究」(J-MICC 連合)に参加の同意をされた方。

- ・遺伝子変異検査、遺伝子発現検査等の分子解析による胸部腫瘍の発生、増殖・浸潤、転移機構の基礎及び臨床研究
- ・伊賀市住民を対象とした生活習慣病に関するゲノムコホート研究

2. 研究目的・方法・研究期間

肺癌や悪性胸膜中皮腫、COPD、間質性肺炎等の呼吸器疾患患者の血液、腫瘍組織、唾液、尿、呼気を含む検体から細胞外小胞(EV)を分離し、タンパク・メタボライト解析や遺伝子変異・発現解析を行うことで疾患特異的EVに発現するターゲットを同定し、臨床応用可能な革新的リキッドバイオプシーを創出します。また上記血液EVマーカーに加えて腫瘍組織、臨床背景も加えてAIを用いた肺癌周術期ICI効果予測モデルを構築します。当院において、すでに記載されている診療録から必要な臨床データや検査結果データを抽出し、本研究責任者がデータを収集し、統計学的に解析を実施します。研究期間は、(実施承認日)～2032年12月31日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

呼吸器疾患にて当院を受診している患者さんから血液、腫瘍組織、喀痰、唾液、尿、呼気を検体として収集します。また診療録に記載されたデータも同時に収集します。収集されたデータは、研究責任者がパスワードをつけたファイルを、名古屋大学呼吸器外科医局内の施錠可能な部屋のパソコンに保存します。研究終了後10年間は保存し、保存期間後は個人が同定できないデータであることを確認した上で消去します。

4. 外部への試料・情報の提供

共同研究施設である愛知県がんセンター研究所への検体の提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、本学の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究責任者:名古屋大学大学院医学系研究科呼吸器外科学 教授 芳川 豊史
研究分担者:名古屋大学医学部附属病院 呼吸器外科 病院講師 加藤 毅人
名古屋大学医学部附属病院 呼吸器外科 講師 中村 彰太
名古屋大学医学部附属病院 呼吸器外科 病院講師 水野 鉄也
名古屋大学医学部附属病院 呼吸器外科 病院助教 上野 陽史
名古屋大学医学部附属病院 呼吸器内科 病院助教 門松 由佳
名古屋大学医学部附属病院 呼吸器内科 病院講師 森瀬 昌宏

名古屋大学医学部附属病院 呼吸器内科 病院助教 阪本 考司
名古屋大学医学部附属病院 呼吸器内科 病院助教 田中 一大

共同研究者: 愛知県がんセンター 研究所 分子診断トランスレーショナルリサーチ分野
分野長 田口歩
愛知県がんセンター 研究所 分子腫瘍学分野
分野長 関戸好孝
愛知医科大学 公衆衛生学講座 教授 菱田朝陽
愛知医科大学 公衆衛生学講座 助教 景山 斎
岐阜大学大学院医学系研究科形態機能病理学 教授 竹内 保
岐阜大学大学院医学系研究科形態機能病理学 准教授 花松 有紀
名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究 特任講師 三城 恵美

試料・情報の提供のみを行う機関:

愛知県がんセンター 呼吸器外科 坂倉 範昭

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者: 芳川豊史

名古屋大学医学部附属病院 呼吸器外科
連絡先: 〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65
電話: 052-744-2375

研究分担者: 加藤毅人

名古屋大学医学部附属病院 呼吸器外科
連絡先: 〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65
電話: 052-744-2375